



美祢市土地開発公社の経営状況

1. 事業の概況

土地開発公社は、良質で低廉な宅地の供給を目的としており、人口定住対策の一環として分譲用地の販売促進を行っています。

平成22年度の事業内容として、住宅用地8区画（美祢7、旦1）を総額52,599千円で売却処分しています。

分譲概要（平成23年3月31日現在）

	計画区画 a	分譲区画	契約区画 b	契約率 b/a
一般住宅	938	800	589	62.8%
美祢住宅団地(来福台)	886	748	548	61.9%
旦住宅団地(りんどうの丘)	34	34	30	88.2%
長田住宅団地	15	15	9	60.0%
湯の口住宅団地	3	3	2	66.7%
集合住宅	96	96	96	100.0%
美祢住宅団地(来福台)	96	96	96	100.0%
計	1,034	896	685	66.2%

2. 経理の状況

(単位:千円)

ア 損益計算書(平成22年4月1日から平成23年3月31日までの収支状況)

1 事業収益	52,599	4 事業外収益	40,138
2 事業原価	52,599	5 事業外費用	30,503
3 販売費及び一般管理費	9,349	事業外利益	9,635
事業損失	9,349		
		当年度純利益	286

イ 貸借対照表(平成23年3月31日時点)

資産の部		負債の部		資本の部	
1 固定資産	57	3 固定負債	2,321,320	5 資本金	10,000
2 流動資産	1,921,237	4 流動負債	35	6 欠損金	410,061
資産合計	1,921,294	負債合計	2,321,355	資本合計	▲400,061
				負債資本合計	1,921,294



美祢観光開発株式会社の経営状況

1. 事業の概況

平成22年度においては、昨年度にも増しての不況、夏の水害、猛暑、冬の記録的な寒波、地震災害により、業界全体が低迷し、厳しい状況にありました。

また、温泉の燃料である灯油の単価が昨年度より高騰し、経営を非常に締め付けました。

このように、売り上げが望めない厳しい状況下において、再度従業員一人一人が意識改革をすることによって販売意欲を向上させ、徹底して経費を削減することにより、僅かではありますが当期純利益を計上することができました。

2. 経理の状況

(単位:千円)

ア 損益計算書(平成22年4月1日から平成23年3月31日までの収支状況)

1 売上高	213,678	4 営業外収益	2,326
2 売上原価	119,068	5 営業外費用	281
売上利益	94,610	営業外利益	2,045
3 販売費及び一般管理費	94,560	6 特別損失	3
営業利益	50	法人税等	183
		当年度純利益	1,909

イ 貸借対照表(平成23年3月31日時点)

資産の部		負債の部		純資産の部	
1 固定資産	2,000	3 固定負債	20,000	5 資本金	30,000
2 流動資産	50,700	4 流動負債	16,890	6 利益剰余金	▲14,190
資産合計	52,700	負債合計	36,890	純資産合計	15,810
				負債純資産合計	52,700



美祢農林開発株式会社の経営状況

1. 事業の概況

本格稼働後3年目となる竹箬製造事業については、品質も安定し、市内外の小売店や卸売業者等へ営業に努めたところ、売上の増を図ることができました。しかしながら、大幅な販路拡大等に至っていないことから、安定的な売上高を計上することができず、課題も残っています。

また、2年目となる農林産物製造事業については、主となる竹の子の水煮が、前期に比し3倍強となる10トン程度の商品製造を行うことができ、販売に関しても、斗缶やパックなどで市内外のスーパー等にて取引を行っていただき、売上を伸ばすことができました。しかしながら、他の農産物加工品については、僅かの商品化しか行えず、竹箬製造事業同様、こちらも課題が残っています。

その他竹細工等製造事業については、竹箬製造時に排出される端材などを活用した正月用商品や竹炭商品などを製造・販売し好評を博すことができました。

これらにより、僅かではありますが当期純利益を計上することができました。

2. 経理の状況

(単位:千円)

ア 損益計算書(平成22年4月1日から平成23年3月31日までの収支状況)

1 売上高	12,616	4 営業外収益	24,491
2 売上原価	26,734	5 営業外費用	1,645
売上損失	14,118	営業外利益	22,846
3 販売費及び一般管理費	8,293	法人税等	183
営業損失	22,411		

当年度純利益 252

イ 貸借対照表(平成23年3月31日時点)

資産の部		負債の部		純資産の部	
1 固定資産	3,728	3 流動負債	2,928	4 資本金	20,000
2 流動資産	16,533			5 利益剰余金	▲2,667
資産合計	20,261	負債合計	2,928	純資産合計	17,333
				負債純資産合計	20,261

問合せ先 財政課(☎0837(52)5226)

平成23年4月1日から平成23年9月30日までの半年間の各会計の財政状況をお知らせします

歳入歳出予算の執行状況(平成23年9月30日現在)

一般会計

【歳入】 (単位:千円、%) 【歳出】 (単位:千円、%)

区分	予算現額	収入済額	執行率	区分	予算現額	支出済額	執行率
市 税	3,308,190	2,021,725	61.1	議 会 費	242,448	134,072	55.3
地方譲与税ほか	663,909	274,785	41.4	総 務 費	2,292,375	787,834	34.4
地方交付税	6,902,986	4,752,224	68.8	民 生 費	4,351,918	1,563,152	35.9
分担金及び負担金	165,911	70,390	42.4	衛 生 費	1,981,165	874,176	44.1
使用料及び手数料	361,452	148,535	41.1	労 働 費	56,893	31,727	55.8
国庫支出金	2,818,039	720,281	25.6	農 林 費	1,060,495	201,897	19.0
県 支 出 金	2,046,237	155,778	7.6	商 工 費	280,141	135,921	48.5
繰越金ほか	940,634	1,312,582	139.5	土 木 費	1,902,311	608,896	32.0
市 債	1,884,300	0	0.0	消 防 費	571,992	253,042	44.2
歳入合計	19,091,658	9,456,300	49.5	教 育 費	1,668,871	581,959	34.9
				災 害 復 旧 費	2,464,875	607,452	24.6
				公 債 費	2,201,984	999,738	45.4
				予 備 費	16,190	0	0.0
				歳出合計	19,091,658	6,779,866	35.5

※平成22年度からの繰越分を含みます。